

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

# 吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



ホームページ ブログ  
最新記事をそれぞれに掲載しています



インターン生と研修中

## インターン体験記⑤松村エミリ

今回は合資会社「木と字と神林」さんに訪問させていただきました。

私事ではありますが、幼いころから、書道を行っていて、「木と字と神林」さんが販売している「水書きグー」を利用したことがあり、興味があったため私の希望で訪問させていただくことをお願いしました。

訪問し、創業55年と歴史ある老舗の雰囲気漂う作業場だと感じました。木製看板、木彫看板製作、商業書画を主にされており、素敵な作品の数々を見せて頂きました。ドラマ「JIN-仁」に作品が使用されたりと、素晴らしい社歴を初めて知ることが出来ました。

「水書きグー」は、この製作作業を行う過程で、水書きグーの用紙がデザインの提案時に利用され、便利さに気づき、この用紙を製品化したのが始まりだとおっしゃっていました。現在、幼児教育の現場に利用されていたり、高齢者施設に利用されたりと実績を教えてくださいましたが、このような素晴らしい商品と共に書道がもっと普及していくことを心から願っております。話題にも上がりましたが、町田市としてこのような中小企業の魅力的な商品を支援するシステムが今以上に発展していくことを高校生ながら必要だと感じました。先日の議会でも民間企業とのコラボレーションの実現の重要性を市としても提言されていたので、これにより町田市の民間企業が発展していくことを強く望みます。



(吉田注) 合資会社・木と字の神林(かんばやし)は、サイン・ディスプレイの看板業界に於いて手彫りによる木彫・木製看板の製作を行う会社。銘木の選定から最終の取り付け迄を一貫製作。さらに手書きによる毛筆・筆文字にてデザインも行っており、オリジナルな和紙の書画の制作を行う地元企業です。

高校3年生 松村エミリ(第45期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや中学生の職場体験に先行実施する学生支援です

★ 大学生の目標・希望にそって、議員と一緒に研修・調査するプログラムで社会勉強。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。



町田市議会議員 **良識ある保守主義**

# 吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

「保守の会」会派室

自宅 042-795-7361



FAX: 042-795-2726

## コロナ3つの密→早期検査

**保守の会は保健所・市民病院の支援を表明!**

コロナウイルス症の感染拡大が、医療・政治だけの課題に留まらず、社会全般の問題、つまり、多数の感染者と死亡者の発生、企業経営の存亡、就業者の就労の可否、保育や教育の可能性の動向、その他もろもろの分野まで広がりました。国がやるべきことが多数ありますが、地方の自治体はどうあるべきかを提示しないとイケないと思います。

まず、町田市は医療の分野で保健所と市民病院を持っていますので、その両者がコロナウイルス症の感染の有無を判定する検査、つまり、PCR検査の実施に関して中枢、及び執行機関を担うべきでしょう。大変かもしれませんが、公務員の中のプロの方が担当していただくべきでしょう。

当初は、発熱37.5度以上が4日以上続いたら検査という縛りが続き、感染者を発見する過程でスタートが遅れてしまいました。その後は、3つの密が唱えられました。すなわち、密閉空間、密集場所、密接場面の重なりを避けてください(2020年3月9日政府専門家会議の見解)と言われましたが、それを多数が守っても、現実には病院や診療所での感染、家庭内感染拡大が一般化してきました。一つの路線を取り続けたことが、時間をおいて日本にも広範囲なコロナウイルス症感染者を生み出しているのでしょう。

これからは、広範囲な人を対象にするPCR検査の実施を行うのが、コロナウイルス症の感染防止対策として、まず、町田市のような個別自治体の主要な仕事の一つになるべきだと思っています。

## 台風被害の稲わらの焼却を引き受ける

昨年の台風19号の水害で大きな災害を受けた東北地方から、東京都内の清掃工場が協同して廃棄物の処理を受け入れることになりました。宮城県大崎市から水害にあった稲わら約4,000トンを送ってきますが、まず区部でそれを受け入れ、町田市などには6月以降に送付され、それぞれが分担して焼却する作業を行います。



道路の端に延々と置かれた稲わらの列

現地ではその稲わらを仮置き場に集め、そこでコンテナに積み、その搬送は大型トラックを使い、仙台貨物ターミナル駅に移動します。ついで、そのコンテナを鉄道に積み都心の隅田川駅に送り、そこから小型のコンテナ運搬車に積み替え、各清掃工場に送られます。その内の一か所が町田リサイクルセンターになります。町田市には12月の間までに搬送されます。

なお、東日本大震災時にも、現地のゴミを町田市などが女川町から受け入れたことがあります。

★ 政党無所属で市議会は「保守の会」

[yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)

URL <https://yoshidaben.jp> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

連絡先 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)